

2023

水辺の生き物調査 調査結果報告



小山町の生物相を把握することを目的として、町内小学生による水生生物調査を実施しました。

1 調査日時

令和5年8月2日（水）9：45～10：40

2 調査場所

鮎沢川（小山町健康福祉会館「ふじみセンター」付近の富士見橋上流）

3 参加者

町内の小学校4年生から6年生までの19名（応募による）

4 調査内容

参加小学生による水生生物の採取を行い、調査業者と協力して生物同定作業と指標生物による水質評価を実施しました。

5 当日の調査のようす



調査前の説明



調査のようす



調査のようす



調査のようす



生物の説明



終わりのあいさつ

6 調査の結果

今回の調査では、下の表のようにカワゲラ類、ヒラタカゲロウ類、ナガレトビケラ類、ナミウズムシなどのきれいな水質の河川に生息する底生動物が主に確認されました。他に、魚類のアブラハヤ、シマドジョウ類、両生類のカジカガエルの幼生などが見られました。

確認された底生動物の結果を用いて、指標生物による水質評価を実施した結果、「水質階級 I（きれいな水）」と判定されました。

河川名		鮎沢川		その他の生物（水生昆虫、貝、エビ・カニ類）		
調査地点名		富士見橋上流		水生昆虫		
年月日		2023年8月2日		ヒゲナガカワトビケラ		
時刻		9:45~10:40		フタスジモンカゲロウ		
天気		晴れ		コカゲロウ類		
水温(°C)		20.7		シオカラトンボ		
川幅(m)		10m (全体は30m)		カクツツトビケラ類		
生物を採取した場所		川の中心・右岸側 (左岸側)		アメンボ		
生物採集場所の水深(cm)		20		ヌマエビ類		
流れの速さ		速い・普通・遅い				
川底の状態		大石・石・(小石)・砂				
水のおい		(なし) あり				
水のごり		きれい・少しにごり (にごり)				
きれいな水	水質階級 I	指標生物		魚類		
		1	カワゲラ類	○	アブラハヤ	
		2	ヒラタカゲロウ類	○	シマドジョウ類	
		3	ナガレトビケラ類	●		
		4	ヤマトビケラ類			
		5	アミカ類			
		6	ヨコエビ類			
		7	ヘビトンボ	○		
		8	ブユ類	○		
		9	サワガニ	○		
10	ナミウズムシ	●				
ややきたない水	水質階級 II	1	コガタシマトビケラ類	○		
		2	オオシマトビケラ			
		3	ヒラタドロムシ類			
		4	ゲンジボタル			
		5	コオニヤンマ			
		6	カワニナ類			
		7	ヤマトシジミ			
		8	イシマキガイ			
きたない水	水質階級 III	1	ミズカマキリ			
		2	ミズムシ	○		
		3	タニシ類			
		4	シマイシビル			
		5	ニホンドロソコエビ			
		6	イソコツブムシ類			
とてもきたない水	水質階級 IV	1	ユスリカ類	○		
		2	チョウバエ類			
		3	アメリカザリガニ			
		4	エラミミズ			
		5	サカマキガイ			
水質階級の判定	水質階級		I	II	III	IV
	1	○印と●印の個数	7	1	1	1
	2	●印の個数	2			
	3	合計 (1欄+2欄)	9	1	1	1
その地点の水質階級		I				

見つかった指標生物の欄に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●を付ける。

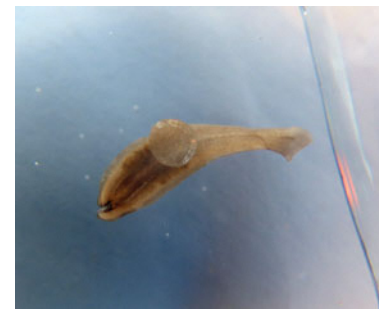
今回の結果と事前踏査（6月20日）の時に見られた底生動物を合わせると、調査地点の周辺では下の表のように27種の底生動物が確認されました。確認された生物は、きれいな水にすむ生物がほとんどでした。

今回は、調査前日の雨で川が濁って増水し、予定した調査地点から少し上流で調査しました。本流より左岸側の細流で主に調査しましたが、そこでは本流から避難した小魚（アブラハヤ）やオタマジャクシ（カジカガエルの幼生）が多くみられました。また底生動物についても、流されていなかった個体が意外と多くみられました。

No.	門名	綱名	目名	科名	種名(和名)	確認数
底生動物						
1	扁形動物門	有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	5
2	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	ミズムシ科(甲)	ミズムシ(甲)	1
3			エビ目	ヌマエビ科	ヌマエビ科	2
4				サワガニ科	サワガニ	2
5		昆虫綱	カゲロウ目	モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	5
6				マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	1
7					クシゲマダラカゲロウ	1
8				コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	1
9					コカゲロウ科	2
10				チラカゲロウ科	チラカゲロウ	1
11				ヒラタカゲロウ科	シロタニガワカゲロウ	1
12					ユミモンヒラタカゲロウ	1
13			トンボ目	カワトンボ科	ハグロトンボ	1
14				サナエトンボ科	ダビドサナエ属	1
15				トンボ科	シオカラトンボ	1
16			カワゲラ目	カワゲラ科	フタツメカワゲラ属	1
17			カメムシ目	アメンボ科	アメンボ	1
18			ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	1
19			トビケラ目	シマトビケラ科	ナミコガタシマトビケラ	1
20				ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	4
21				ナガレトビケラ科	ムナグロナガレトビケラ	1
22					ヤマナカナガレトビケラ	1
23					ナガレトビケラ属	1
24				カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属	1
25			ハエ目	ユスリカ科	ユスリカ科	1
26				ブユ科	アシマダラブユ属	1
27			コウチュウ目	ゲンゴロウ科	モンキマメゲンゴロウ	2
	2門	3綱	11目	22科	27種	
魚類						
1	脊椎動物門	硬骨魚綱	コイ目	コイ科	アブラハヤ	+
2				ドジョウ科	シマドジョウ属	2
両生類						
1	脊椎動物門	両生綱	無尾目	アオガエル科	カジカガエル	+

注 1)+:10個体以上

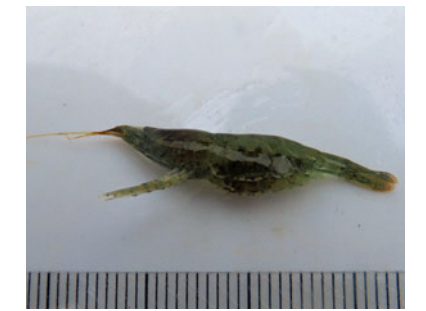
調査で見られた底生動物



ナミウズムシ
プラナリアと呼ばれ、体が分かれても2つの体に再生します。



ミズムシ
ワラジムシに似た形で上下にやや平たくなっています。



ヌマエビ類
淡水にすむ小型のエビです。



サワガニ
淡水域で一生活をすごします。



シロタニガワカゲロウ
平らな形で、石に張り付いています。尾が3本あります。



カワゲラ類
尾は2本で、足のつめは2本。多くの種類ではえらがあります。



ヘビトンボ
大きなあごで、他の水生昆虫を捕らえて餌にします。



ヒゲナガカワトビケラ
石の間の網で餌をとり、羽化して成虫になると上流に飛びます。



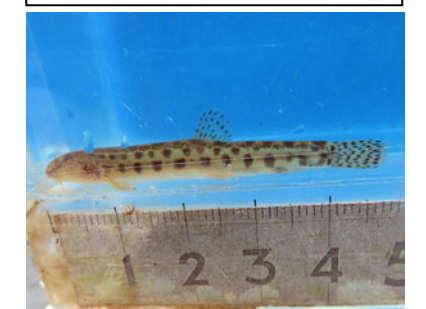
ナガレトビケラ類
巣や網をつくらず、歩き回って餌を探します。



カクツツトビケラ類
落葉を切り取って作った四角柱の筒巢の中にすみます。



モンキマメゲンゴロウ
きれいな川にすむ小型のゲンゴロウで、黄色い斑紋があります。



シマドジョウ類
きれいな砂底にすみ、町はヒガシシマドジョウの分布になります。